

Q:育優塾に入るまでどのような生徒でしたか?

受験の難易度を浅やかに考えていて、家ではあまり定期テストの勉強をせず、努力をしているとはいえない生徒でした。

Q:受験に向けてがんばろう!と思えたきっかけはありますか?

高校受験で、自分の中で努力したという実感を得なかったことを反省し、高1から怠らずにしっかり勉強しようと思ったのが主なきっかけです。また、少なくとも関関同立以上の大学には進学できないと就職が不利であるということもあり、将来のためにも今からしておこうと高1の頃から思えたのもきっかけの一つです。

Q:受験勉強をする中で一番大変だった思い出などはありますか?

高3の夏休みで失恋したり、特に秋まで思うように成績が伸びなかったのがしんどかったです。自分が心配性だったのもあると思いますが、成績の伸びを実感できないと勉強のモチベーションが低下する、焦りが出始め思うような点を取りづらくなってしまおうという負のスパイラルに陥ってしまうのが本当にしんどかったです。

Q:勉強のコツはありますか?

得意な教科を伸ばす、苦手教科を足枷にならない程度まで点を取れるようにするのを同時にこなすこと。そして定期テストを無駄なものと思わず、特に暗記科目や理科系はしっかり高1から勉強しておくこと。自分の同級生は、高3からいまだに勉強し始めて第一志望に落ちた人が多かったです。高1,2でしっかり基礎をかためておかないと高3で痛い目見ます。逆に言えば、高3になるまでに基礎ができていると圧倒的に有利です。

Q:合格して一番伝えたいことは?

中には努力しても実を結ばないこともあるけど、自分は努力することに意味があると思っていて、将来に必ずどこかで活きてくるんじゃないかなって思います。入学が楽な大学に入って、「もっと勉強しておけば良かった」とか、受験を後悔する声をよく耳にするので、たった3年間地道に努力すること自体がとても有意義で大切なことだと思っています。勉強が嫌でさぼることがダメであるとは思わないけど、その後の60~70年間後悔するぐらいなら、高3の間だけでも努力して欲しいです。たとえ志望校には受からなくても、受験期の努力が自分の財産になります。